

開所3周年!!

ハーモニーは今年の9月で開所3周年を迎えました。8名の利用者様でスタートしたハーモニーも、今では連日20名前後の方が作業に参加しています。今までに延79名が利用し、作業を通じて12名が一般就労に移行しています。ハーモニーは就労継続支援B型と呼ばれる作業所です。一般就労への移行だけを目的とする施設ではありませんが、就労を希望される利用者様には精一杯の支援を行い、その背中を押していきたいと思えます。施設外就労をはじめ、様々なチャレンジをしたこの3年間をふまえ、これからも利用者様のために必要な支援を行っていきたく考えています。利用者様とご家族、関係各所の皆様、これからもハーモニーをよろしくお願ひ致します。サービス管理責任者 大橋有利子

8月23日、開所3周年の記念イベントを行いました。今年も、ワタミ手づくりマーチャンダイジング(株)様にボランティアとしてご参加いただき、ご提供頂いた15種類程の惣菜と、ハーモニー職員特製豚汁によるおいしい昼食会に続いて、ビンゴ大会、〇×クイズ、スイカ割りなど行い、利用者様にとってとても充実した楽しいひと時を過ごされたようです。



森の家

◇お問合せ電話番号◇0493-56-4775(森林公園メンタルクリニック宛)

森の家では、入居者様が作った食材を少しでも食卓に並べようと、プランターになす、きゅうり、ミニトマト、花壇の一部に枝豆を植え、育てました。しかし、猛暑の影響で、きゅうりが10本しか収穫できず、残念な結果となりました。ナス、ミニトマトは最後の収穫を迎えています。



8月28日は納涼祭を行い、収穫した枝豆やお寿司などを食べ、夜は花火をして過ごしました。これからは誕生会や十五夜、クリスマス会など、季節の行事を取り入れ、楽しい思い出づくりとなるよう取り組んでいきます。また、10月1日には開所して3周年を迎えました。1名の入居者様から始まり、現在は8名の方が入居されています。一人ひとりが着々と自立に向けて歩んでいます。スタッフ一同、これからもしっかりと支援をして参ります。

医療法人昭友会送迎バス 月・水・土運行 祝祭日運行 運賃:無料 定員:24名

発着所	1便	2便	3便
埼玉森林病院	9:15	13:00	15:00
いづみケアセンター	9:20	13:05	15:05
ベイシア・カインズ	9:30	-	-
森林公園メンタルクリニック	9:35	13:15	15:15
森林公園駅北口	9:40	13:30	15:30
ベイシア・カインズ	-	13:40	-
いづみケアセンター	9:55	13:50	15:45
埼玉森林病院	10:00	13:52	15:50

編集後記

7月より、精神保健福祉士として入職しました、清水かおりです。デイケアを中心に様々な業務を経験中です。デイケアのメンバーさんをはじめ、外来の患者様など、多くの方と関わり、より成長していきたいと思っております。宜しくお願いいたします。

清水かおり



発行 医療法人 昭友会 森林公園メンタルクリニック

〒355-0811 埼玉県比企郡滑川町大字羽尾 495 番地 TEL 0493-56-4775/FAX 0493-56-4817 昭友会ホームページ

http://www.kokoro.or.jp



診療室より

外来担当医師の紹介(Part 2)

今年4月から木曜日の外来を担当している長崎です。

元々は福岡県久留米市の出身で、同じ福岡県の北九州市にあり産業医科大学を卒業後、おもに精神科病院の急性期病棟・医療観察法病棟などで勤務してきました。現在は民間の精神科病院で働いています。

私がいろいろな科の中から精神科を選んだ理由を思い返してみると、10代のころに「生きるのはつらいな」と感じていて、20代になってもだらだらと感じていて、精神科の患者様の苦しみと自分の苦しみを重ねて選択したように思います。精神科医になれば自分の、そして他人の「生きる苦しみ」を解決することができると思ったのでしょう。

さて実際に精神科医になってみると、それは「生きる苦しみ」をやわらげる仕事ではなく、「脳や心の病気の苦しみ」をやわらげる仕事でした。

患者様は、病気なのに「薬はいりません。自分でなんとかします」と主張したり、人生がうまくいっていないだけなのに「うつですよ？会社休みたいので診断書を書いてください」と言ってきたりします。

家族や友人にしても、つらそうにしている患者様を見たら、悩んでいた頃の自分を重ね合わせて「頑張ろう！」とか「気の持ちようだよ」とか励ましたくなってしまったりかもしれません。そして大の精神科医も、「正常な悲しみ」と「うつ」の区別ができずSSRI(うつ病や不安障害の治療薬)を処方しすぎている、との批判を受けています。「生きる苦しみ」と「病気の苦しみ」の区別はそう簡単なことではないようです。

診察室に入り、高度な医療機器による検査も受けず、主に話だけで治療が進んでいくと、「自分はちゃんとわかってもらえただろうか？」「この医者はきちんと診断できるのだろうか？」と心配になるかもしれません。これからは医学は進んでいきますから、100年後の未来から見たら現代の精神科医療なんて原始的で笑ってしまうようなものに違いありませんが、それだからこそ、患者様とご家族と医療者が協力することで「病気の苦しみ」を減らしていく、「生きる苦しみ」を普通の苦しめる状態に回復していくことが大事ではないでしょうか。これからもそのお手伝いができれば幸いです。



長崎 隆嘉 医師

外来スタッフから一言

長崎医師は、常に患者様一人ひとりと、真剣に向き合いながら、善し悪しの区別をしっかりとつけて診察しています。精神科看護の未熟な私にとって、とても勉強になります。先生が話している「病気の苦しみ」を患者様から減らす為にもスタッフ間の協力体制をしっかりと機能させ、全力で患者様を支援できる環境づくりに努めていきます。

今後とも森林公園メンタルクリニックをよろしくお願ひ致します。

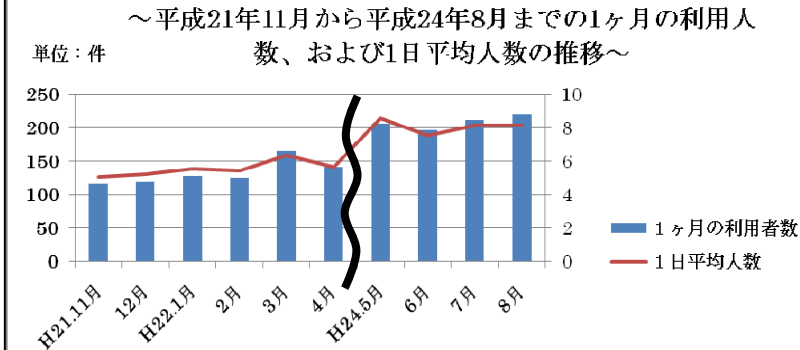
◇お問合せ電話番号◇090-5515-6010
 担当者 中島/大村/須田/吉田
 訪問日 日曜 祝日 年末年始を除く毎日 8:30~16:30

訪問看護部からは、皆様に訪問看護を身近に感じて利用して頂けるように、当院の訪問看護を分かりやすく説明させて頂きたいと思っております。

訪問看護部を立ち上げたきっかけは、病院を退院された方(特に長期入院者や身寄りのいない方)がなかなか地域の生活に馴染めず、「苦勞して地域生活を送るなら入院生活の方が楽だ」といったケースなどを目の当たりにし、地域医療の役割を担う精神科訪問看護を実施していこうと考えました。私たちスタッフは訪問看護の役割について障害をもちながらも、その方が住み慣れたところで、その方の意思を尊重して可能な限り持っている能力を最大限に活かしながら、安心して自立した日常生活を送ることができるよう、ご本人やそのご家族に対して医療面や精神面の上でのサポートすることであると位置付け、利用者様一人ひとりより良い信頼関係を築き、些細な事でも相談を受けながら、自立へ向けて地域などへ繋ぐための支えとなるよう今日まで努めて参りました。

訪問看護開始時の利用者数はH21年11月には月延人数116件、1日平均5.04人でした。H24年8月には月延人数219件1日平均8.11人と増えています。実際に訪問看護を利用している方から訪問看護の活動内容を聞いて希望される方もいます。

また訪問看護利用中の方で、生活が安定し、利用回数を減らしたり中断した方から、調子が悪くなった際にはまた、回数を増やしたり再開したいという希望もあり、緊急時の細やかな訪問看護を行うなど様々なケースに対応しております。



以下は、皆さんから良く聞かれる質問です。

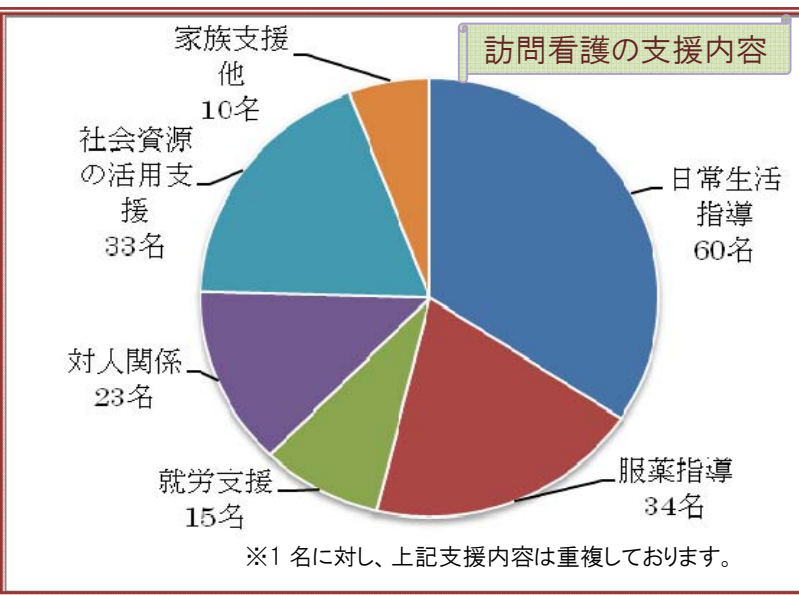
Q: 訪問看護って実際どんなことやっているの？

A: 生活や病状の相談、アドバイス。服薬指導。就労の相談、支援。社会資源や制度のご案内。

その他、その人その人の不安や心配に対する支援。これらを通して、スタッフと相談しながら話をすることで、対人関係の苦手な患者様も自然と人と向き合える力が身に付いていきます。

Q: どんな人が受けられるの？

A: 当クリニックに受診している人であれば、利用可能です。



これらの活動を通し、現在は73名の方に継続して利用して頂いています。継続することにより、病状悪化時も早期発見、早期治療に繋ぎ、再入院を回避している方も多くいらっしゃいます。訪問看護を継続して利用していただきたい利用者様の為に、これからもスタッフが親身になって、支援の手を差し伸べていきたいと思っております。詳しくは、主治医か当クリニックのスタッフまでご相談ください。

今後とも、よろしくお願いいたします。



◇活動日・活動時間◇ 月曜日～土曜日 (祝日、年末年始を除く) 9:30～15:30
 ◇お問合せ電話番号◇ 0493-57-2228 (デイケア直通)

2012 デイケア祭り

今回のデイケア祭りには 45 名の利用者様が参加され、和気あいあいと大賑わいの 1 日となりました。

ゲーム大会

○×クイズ、いすとりゲーム、フルーツバスケットを行いました。

○×クイズでは、予想もしなかった利用者様が優勝され、他の利用者様からたくさんの拍手をもらっていました。



楽器演奏会

鞍半兵衛 (くらはんべい) 様による、楽器の生演奏でした♪
 曲名・月の沙漠

- ・フライ・ミー・トゥー・ザ・ムーン
- ・スターダスト
- ・哀愁 波止場

楽器の演奏を生で聞ける機会も少ない為、クラリネットやサクソを使った生演奏に、利用者様全員が聴き入っていました。



舞台サークル

半年ほど前から劇の話し合いが始まり、出演者全員で構成を考え、脚本作りに励みました。動物がデイケアメンバーという設定の内容です。小道具や看板を作り、練習を重ねてデイケア祭りで本番を迎えました。予定よりも脚本や道具作りに時間がかかってしまい、劇に出演される皆様のほとんどが練習不足にもかかわらず、出演者全員、自分の役を見事に演じ切ってくれました。出演者の達成感や充実感を肌で感じる事が出来て、スタッフも胸を撫で下ろす事が出来ました。本当にお疲れさまでした。



ビンゴ大会

祭りのフィナーレを飾るプログラムとなりました。賞品をゲットしようと多くのメンバーが参加し、とても盛り上がりました。
 Sさん: ねらっていた賞品がもらえず残念でした。
 Hさん: 昨年の賞品より、いいものがGETできました。実用的で家で使えそうでうれしい。
 Kさん: 皆で盛り上がりすぎて楽しいけど、皆がライバルになります。



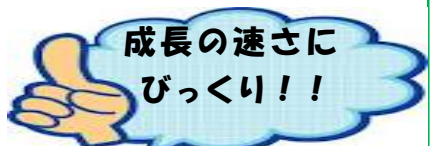
グリーンカーテン

昨年に引き続き、ゴーヤでグリーンカーテンを作りました。とても暑かった夏でしたが、グリーンカーテンを見ると涼しく感じる事ができました。一昨年に比べ、出来栄は上々です！！

ゴーヤの収穫も多く、料理のレパートリーも増えたと、利用者様から喜ばれました。



6月



9月